



編集発行：寝屋川市社会福祉協議会ボランティアセンター
 電話：072-838-0400
 URL <http://www.neyagawa-shakyo.or.jp>



ホームページ ツイッター インスタグラム FB

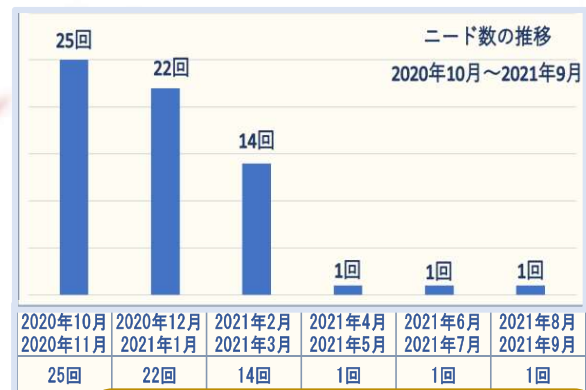
上記の QR コードを携帯電話やスマホ等から読み取ると、本会の各 SNS ページにつながります。

コロナ禍の現状、それぞれの思い… 今だからできることを探していきます(^_^)

■年はあけても、コロナ禍はおさまらず…

コロナ禍に覆われた 2020 年が過ぎ、新たに 2021 年となりました。しかし、依然として新型コロナウイルスの感染拡大はおさまらず、寝屋川市でも 12 月には 1 週間で 100 人以上の感染者が確認されました。年明け以降も継続して多数の感染者が発生しており、コロナの脅威に脅かされるようになっています。また、大阪府においては、1 月 14 日から緊急事態宣言が発令されました。

は一時ボランティアセンターを閉鎖せざるを得ない状況になりました。



昨年後半からのニード数を比較すると違いは明らかです。昨年度の総数は 121 件、後半は 61 件でしたが、今年度は 5 件の受付のみとなり 96%の減少となりました。

早く笑顔で活動できる日が来ますように。



■ボランティアセンター、減少するニード

ボランティアセンターもコロナ禍の影響の中、徐々にニード（ボランティア依頼など、ボランティアに関する相談ごと）が減っていき、昨年 5 月の緊急事態宣言の際に

■施設の今、ボランティアの今

以前は、定期的にあつた施設からのボランティア依頼。しかし、コロナ禍の今、相談はほとんどありません。施設は今どのような状況に置かれているのでしょうか？そして、そんな依頼に応じて元気に活躍していたボランティアの方はどんな気持ちで過ごしているのでしょうか？インタビューを通して、ボランティアをとりまく今をみつめてみました。

※本紙中「社協」は寝屋川市社会福祉協議会、「V」はボランティアのことです

ボランティアについて

それぞれの思い・・・



お話しを伺ったボランティア担当の相談員 木村友紀（左）さんと山崎さん

石津中町の特別養護老人ホーム石津園では傾聴ボランティアグループ「14の耳」による月1回の喫茶、木曜日に行っている売店などの他演芸やレクリエーションなど日々様々なボランティアが活躍されていました。ボランティアに来ていただいている時間は利

コロナ禍でのボランティア活動

昨年は世界的コロナ大流行の為、今までの自治会、老人会、高齢者（福祉）施設でのボランティア活動が次々と中止となりました。

長期にわたる巣ごもり生活、コロナから逃れるには体調を整え、免疫力だと、私も昨年3月よりフレイル予防に友呂岐緑地公園をエスポアールから萱島駅（神社）ウォーキングを始め250回往復しました。また毎日のラジオ（テレビ）体操、太極拳など、巣ごもり生活中に



登録ボランティアグループ

” SA 北河内百楽の会 “谷口豊基さん

は本も沢山読み、私の履歴書 1937年（昭和12年）1月より2021年（令和3年）迄の84年間の出来事、思い出、海外旅行等々を1冊のノートにしました。

一日も早くコロナが収束してボランティア活動を通じて地域福祉のお役に立ちたい！沢山の笑顔に早く会いたい！

百楽の会の名前のおり100歳まで元気でボランティア活動をつづけたいですね。

谷口さんは SA 北河内百楽の会のマジック、落語だけではなく、詩吟、もずやんクラブ、守口市で消費生活の市民向け講座の講師など寝屋川市以外でも様々な活動をされています。

フレイルって？

年をとって体や心へのはたらき、社会的なつながりが弱くなった状態。そのまま放置すると要介護状態になる可能性があります。そのまま放置すると、要介護状態になる可能性があります。フレイル予防は日々の習慣と結びついています。栄養、身体活動、社会参加を見直すことで活力に満ちた日々を送りましょう。

※厚生労働省 フレイルパンフレットより





大阪陸会の演芸は利用者も一緒に楽しみました♪

利用者さまも、とても楽しみにしています。しかしコロナ禍で対面での面会も中止する中、ボランティアの活動も現在は休止しています。楽しみが無くなって、利用者さまの笑顔が少な

くなったように感じます。早くコロナが収束して、また活動していただける日が来ますように・・・またその際はボランティアの皆さんよろしくお願いたします。

ボランティアセンター運営委員会の活動について

運営委員会では、担い手について有識者指導の下、如何にすれば若い人が担い手として関りをもってもらえるか、またどの様にボランティア活動の仲間として、発掘するかを話しあっております。

ボランティア元年と云われた「1.17 阪神大震災」時に於いては、被災者が自然に何となく集まり復旧作業を行っている中、その輪がどんどん広がり全国から数万人のボランティア

ボランティアセンターでは定期的に運営委員会を開催し、各種事業や活動方針の検討、ボランティア活動に関する情報交換や情報提供を行っています。運営委員長の椿野昌祐さんにお伺いしました。

グループが出来上がり、人とひとの繋がりがまたたく間に出来た様に聞いております。

我々のボランティア活動は日常生活の中、簡単に出来る活動から取り組めたらと会を進めております。

委員会のメンバーは各ボランティア経験者などで構成されておりますが、各ボランティアグループにおいてもまだまだ人手不足の状態です。若い担い手発掘のため、各講座などのイベントを充実し、効果的な周知の仕方など工夫することも大切だと思っています。今後も経験豊かな委員のみなさまと検討を重ねていきたいと思っております。



ソーシャルディスタンスを確保しての会議風景と椿野委員長



春の!



MAME 知識

「春告魚」って何の魚? ニシンは、春に産卵のために沿岸に来ることから、「春告魚」という異名を持ちます。読み方は「はるつげうお」また、ニシンだけでなくメバルも「春告魚」と呼ばれます。メバルもニシンも春になると産卵のために浅瀬に移動するため、「春を告げる魚」といわれています。

ボランティアセンターより 登録更新のお知らせ



団体・個人の登録ボランティアの皆さま
令和3年度登録更新をお願いします。

現在ボランティアセンターに登録していただいている方には登録更新のご案内を3月に送付します。令和3年度も登録希望の方は、申請をお願いします。

- 登録機関：令和3年4月1日～翌年3月31日まで
- 申請方法：「団体（または個人）登録申請書」をボランティアセンターに提出
- 提出期限：令和3年3月31日まで

※令和3年度のボランティア保険は3月下旬頃より受付開始予定です。登録の際にはボランティア保険の加入をお勧めします。

詳細は当ボランティアセンターへお問い合わせ下さい

☎072-838-0400



窓明かい

「リモート会議って、案外手軽にできるもんよ！」。
あるボランティア部会長が役員会をリモートで実施したことを報告してくれました。新型コロナウイルスの影響でボランティア活動を取りまく環境が様変わりしましたが、みなさんさまざまな工夫をこらして活動を続けています。会うことがなかなかできない中でどうやってボランティア活動をしていくか。
「こんなときだからできることがある」。ボランティアセンターの試行錯誤も続いていきます。（事務局職員）

